

(ことのはあわせ・小学生体験バージョンから)解答

(1)「段」の部首名は。

C: るまた(つくりの部分です。)

(2)「右」の太い線は何画目か。(* 太くできないので、ここでは — 横棒とします。)

B: 2画目(左は横棒から始めます。)

(3)「延」の総画数は

B: 8画(えんによは3画です。)

(4)上が下を修飾する(かざる)関係でないものを1つあげよ。

☒A: 地震(地が震える＝主語と述語) B: 早寝(早く寝るだから) C: 大空(大きな空)

D: 弱点(弱い点)

(5)「結果」の対義語(反対語)はどれか。

A: 権利(義務) B: 主観(客観) C: 危険(安全) D: 原因(結果)

(6)「支出」の対義語はどれか。

A: 困難(容易) B: 許可(禁止) C: 収入(支出) D: 形式(内容)

(7)「生徒会長をつとめる」はどれを使うか。

A: 勤める(会社に勤める) B: 努める(サービスに努める) ☒C: 務める(リーダーを務める) D: 勉める(問題解決に勉める)

(8)「あつい辞書を開く」はどれを使うか。

A: 暑い B: 熱い ☒C: 厚い D: 篤い

(9)「左右たいしょうの図形」はどれを使うか。

A: 対象(相手の意味) B: 対照(比べる意味) ☒C: 対称(2つが向き合う意味) D: 大将(リーダー)

(10)「費用をふたんする」はどれが正しいか。

☒A: 負担 B: 不単 C: 付反 D: 符誕

(11)「自分の都合のいいようにすること」の四字熟語はどれ。

A: 傍若無人^{ぼうじゃくぶじん} B: 大器晩成^{たいきばんせい} C: 絶体絶命^{ぜったいぜつめい} ☒D: 我田引水^{がでんいんすい}(自分の田んぼだけに水を引くことから)

(12)「一生のうちのただ一度の大切な出会い」の四字熟語はどれ。

A: 適材適所^{てきざいてきしょ} B: 千差万別^{せんさばんべつ} C: 優柔不断^{ゆうじゅうふだん} ☒D: 一期一会^{いちごいちえ}

(13)「つじつまがあわない、筋が通らない」といったらどれ。

A: 漁夫の利 B: 蛍雪(けいせつ)の功 C: 五十歩百歩 ☒D: 矛盾(むじゅん)

(14)「とても待ち遠しいこと」の意味に「一日〇秋」があるが〇には。

A: 一 B: 十 ☒C: 千(一日が千回の秋に感じられるくらいという意味) D: 万

(15)「いねむりをする」を「()をこぐ」というか。

A: 山 ☒B: 舟 C: オール D: さじ

(16)「おかしくてたまらないこと」を「()で茶をわかす」という。

A: 鼻 B: 耳 ☒C: へそ D: 口

(17)「じつとがまんしてがんばること」を「石の上にも〇年」という。

A:1 B:2 ☒C:3 D:10

(18) 次のうちで一番早く誕生したのは。

☒A: 漢字(中国から伝わる) B: 万葉がな(奈良時代) C: ひらがな(平安時代)

D: カタカナ(平安時代)

(19) 「^{ぎおんしょうじゃ}祇園精舎の鐘の聲 ^{しょぎょうむじょう}諸行無常の響きあり・・・」ときたら。

A: 源氏物語 B: 竹取物語 ☒C: 平家物語 D: 論語 (小5の教科書に載^のっていますね。)

(20) 「春すぎて 夏きにけらし しろたへの」の下^{あま かぐやま}の句は。

A: わが衣手は～ ☒B: 衣ほすてふ～(天の香具山と続く) C: 声聞くとときぞ～ D: 知るも知らぬも～

まとめ 千年以上の昔からさまざまな書物が、今でも語りつがれるように、日本語は奥が深い。いろんな書物や言葉を学んでいこう。わからない語句に出会ったら辞書を引く習慣を身につけよう。